

支援する会ニュース

2021. 9. 16 NO. 49

韓国・金属労組慶南支部 韓国サンケン支会
韓国サンケン労組と連帯する埼玉市民の会
韓国サンケン労組を支援する会

東京都台東区上野 1-12-6 3階
中小労組政策ネットワーク気付
Tel:03-5816-3960 fax:03-5812-4086

尾澤孝司さんの早期釈放を勝ち取ろう！

尾澤孝司さんは5月10日、韓国地労委の話し合い勧告を本社に求めたところ、サンケン電気と埼玉県警によってでっち上げ逮捕され、「暴行」と「威力業務妨害」で起訴されました。現在、新座署留置場での勾留が続いており、すでに4か月目に入り、今日9月16日は勾留129日目です。さいたま地裁は9月7日、保釈請求を「罪証を隠滅すると疑うに足る相当な理由がある」として却下しました。検察意見を丸のみした不当なものです。今後、尾澤さんの早期釈放を求める署名活動を始めますので、よろしくご協力ください。

雨の降りしきる9月9日、第48回木曜行動が取り组まれました。のべ90人の参加でした。9月13日(月)には埼玉市民の会の本社前スタンディングも取り组まれました。以下、木曜行動を報告します。

〔本社正門前〕



埼玉市民の会のアピールで行動開始(写真左)。韓国からはキムヒョンジンさん、ヤンソンモさん、キムウニョンさんがオンラインアピール。キムヒョンジンさんは「サンケン電気は仕事があるときは労働者を使い、会社が厳しいという理由で簡単に労働者を放り出し捨て去る。

そうした会社の実態がはっきりした。まじめに働く労働者に対して労働の対価をきちっと支払えば、会社も大きな利益を上げることになると私達は信じている」と訴えました。ヤンソンモさんも「保釈請求の却下を聞いた韓国の労働者はみんな、本当に何故こんなことになっているのか。本当にもどかしいという気持ちを隠すことができない。しかし、私達は今回の尾澤さんに対する不当な決定に対して改めて決意を新たにしていきたいと思います」と尾澤さんの保釈について話しました。最後に、いつもながらの力強いシュプレヒコールを上げて次の行動に移りました。

〔志木駅南口前〕

埼玉市民の会のアピールで行動を開始。韓国からはキムヒョンガンさんとペクウンジュさんがオンラインアピール。キムヒョンガンさんは「サンケン電気はサンケンコリアという営業中心の事業所もあり、韓国企業のLGと合併会社を作って新たな工場を作っている。このように企業活動を一切すべて清算するというわけではなく、企業活動は維持して拡大しながらも、私達が働いていた韓国サンケンをなくしてしまうという、全く不法なことに手を染めたのだ」と偽装廃業を暴露しました。ノ

レの会、サンケン太郎さん、ゆいの会、群馬合同労組、韓国良心囚を支援する全国会議の仲間からアピールと歌の披露。明大生協の仲間から締めのアピールがありました。



〔南池袋・東京事務所前〕

渡辺共同代表のアピールで行動開始。埼玉市民の会、全労ユニテッド闘争団、山谷日雇労組、サンケン太郎さんがアピールと歌。韓国からはキムヒョンガンさん、オヘジンさんがオンラインアピール。オヘジンさんは「5年前にも日韓民衆の連帯の力で勝利した。正直言ってこの闘いは前が見えない非常に困難な闘いだ。毎日の闘いに疲れ果ててしまっている人もいるし、なぜこんなことを続けなくてはならないのかと思いついて始めている人も組合員の中にはいると思う。当時キムウニョンさんは歴史というのは闘いの中で作られるものだ。私たち自身が歴史を作っていると言っていた」と闘いの歴史的な意義について話しました。この日はあいにくの雨模様にもかかわらず、韓国KBSが朝からカメラを回して取材してくれました(写真左)。最後に池袋東京事務所に向けてシュプレヒコールを上げて行動を終わりました。

